

平成25年度十勝川中流部川 づくり(草地復元)協働作業

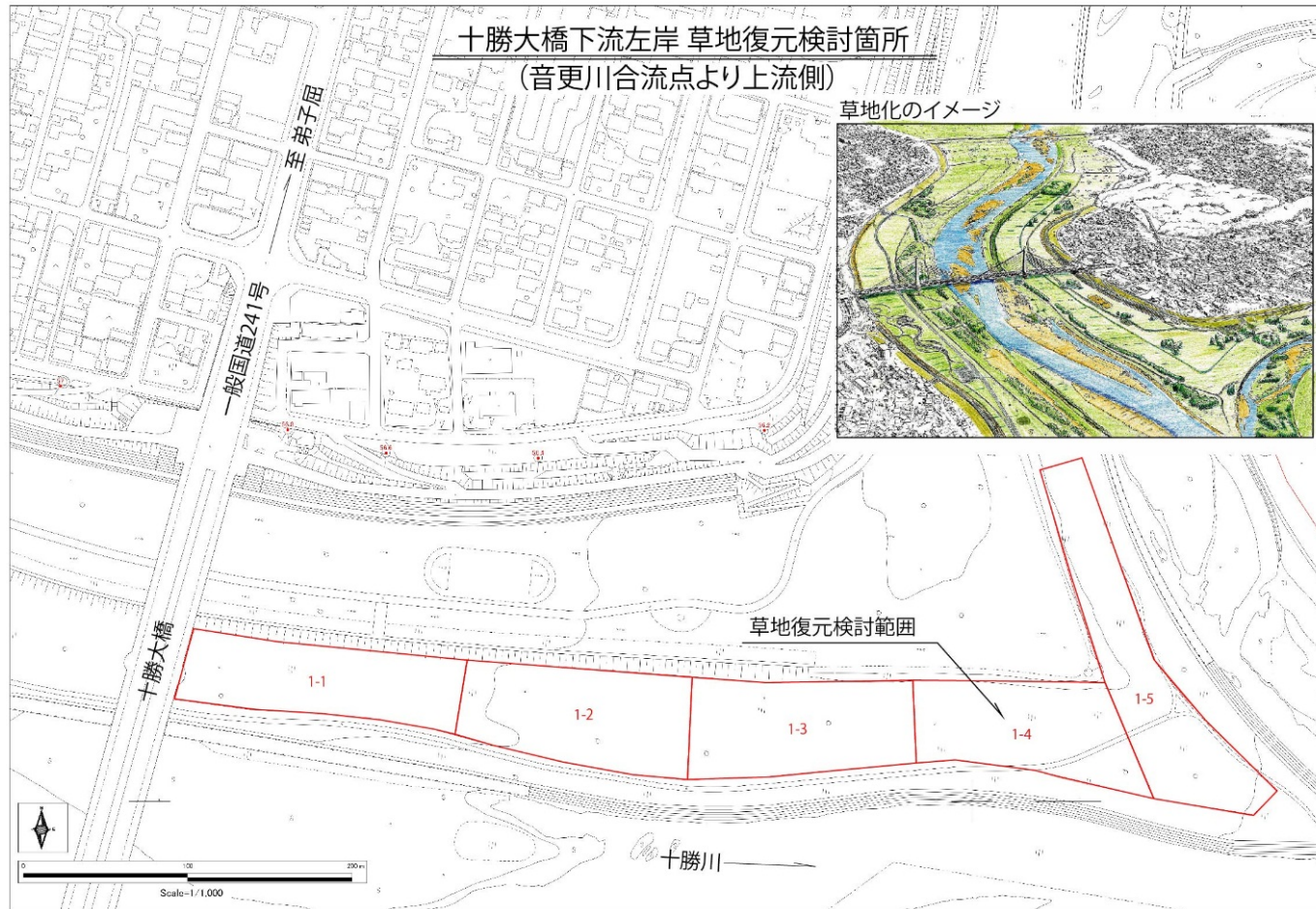
帯広工業高等学校環境土木科1年生

発表者:塩島由妃
山川織映

今年1年間の活動内容

- ・7月2日 第一回目の視察
（十勝大橋周辺の見学、湿地での水生動物調査）
- ・9月17日 第二回目の視察および草地提案図（各個人ごと）
（自然草地、十勝大橋付近の見学）
- ・11月12日 各班ごとにわかれ草地提案の意見集約、作図
- ・12月17日 図面整理、とりまとめ

環境土木科1年が考える草地について



第一回目の視察（十勝大橋周辺）

- ・自分たちが草地復元に携わる地域はどのようになっているのか
 - 木がどのくらい生えているか
 - 地形がどのようになっているか
 - どんな生き物が生息していそうか
 - 川からの近さはどうなっているか
 - 全体的な雰囲気

調査の様子



第一回目の視察(湿地の生物調査)

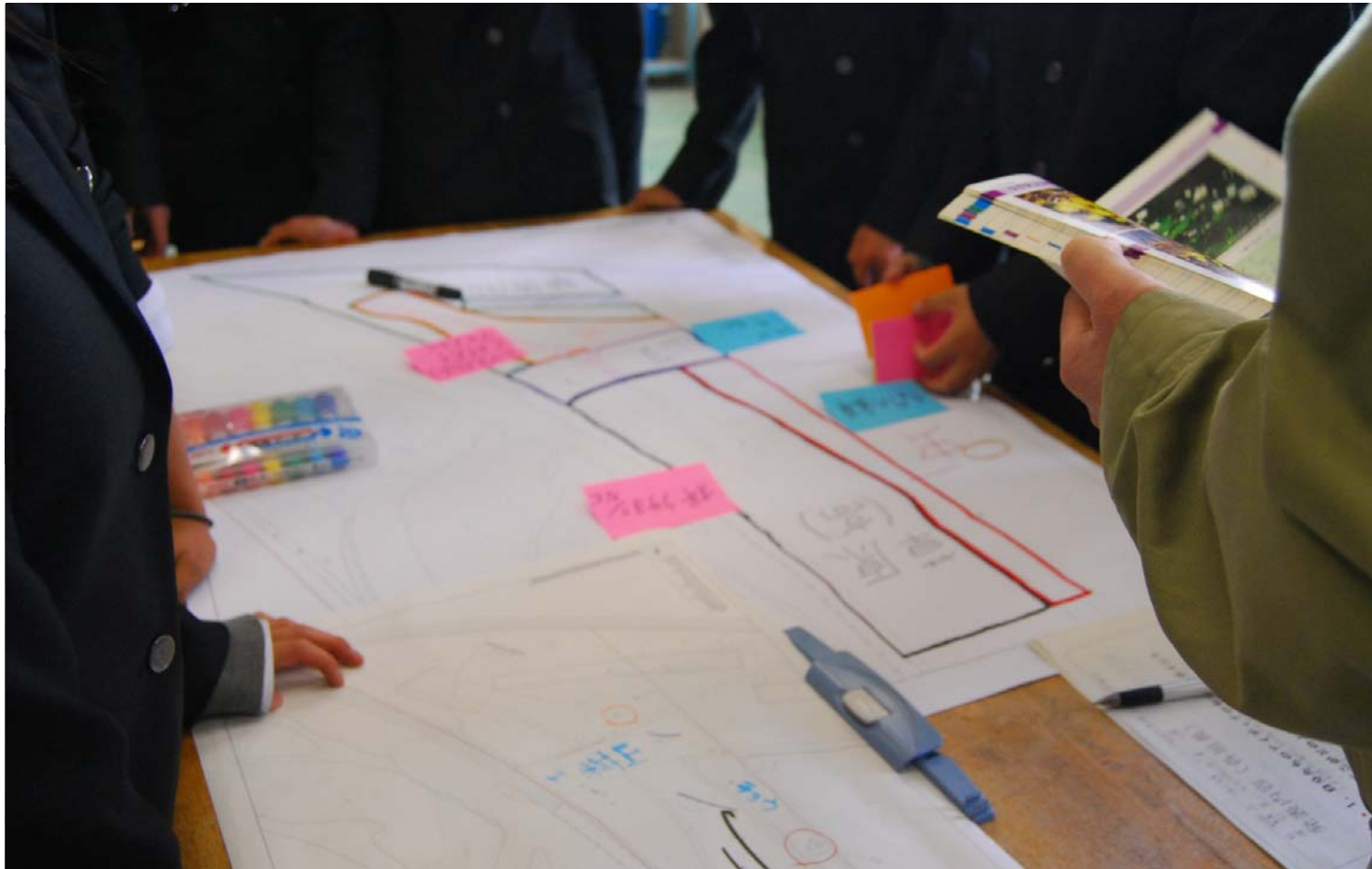


第二回目の視察(9/17)

- ・教室で概要説明
- ・自然草地復元のモデルとなりそうな場所の見学
- ・草地復元対象区での作業
(計測 スケッチ デザイン検討など)



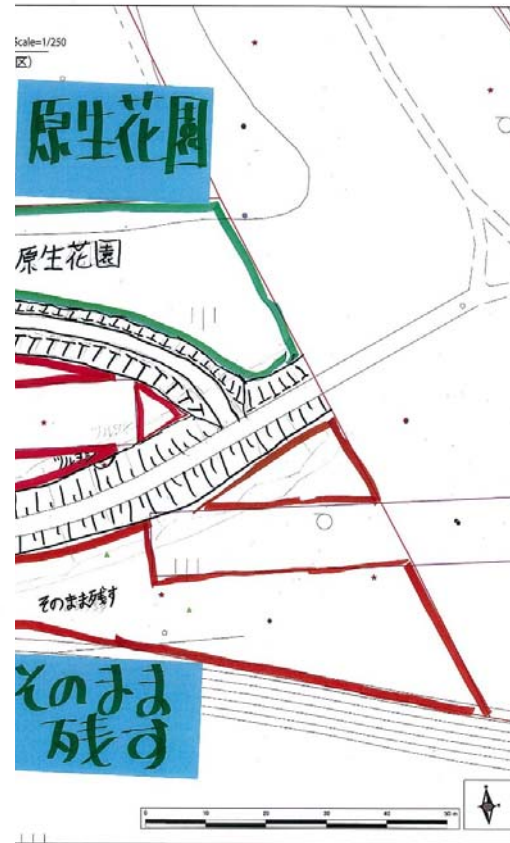
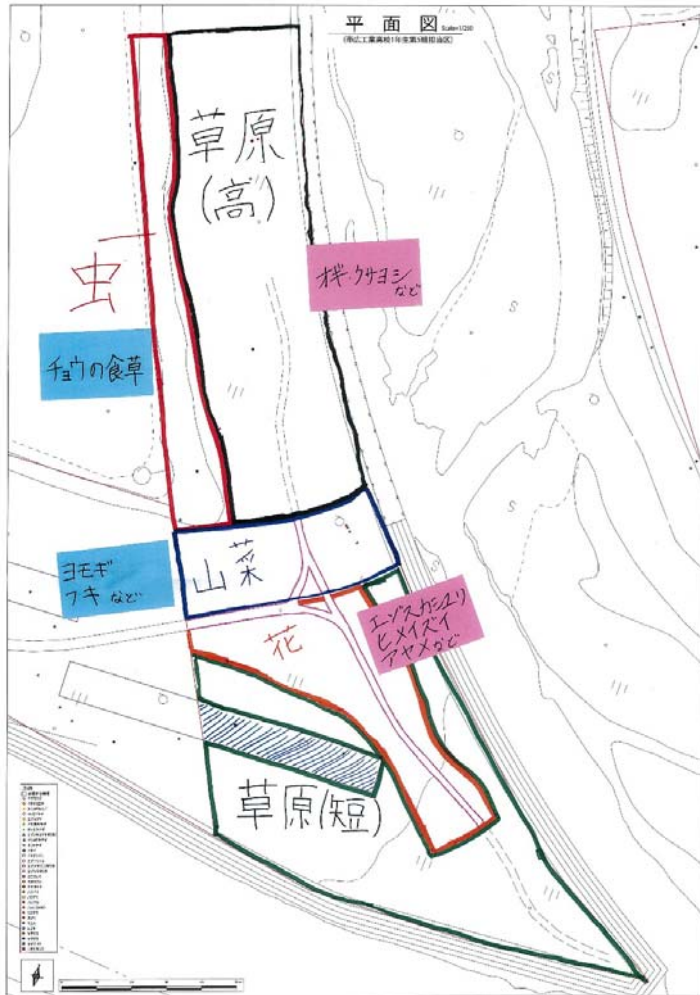
各班での図面整理



各班の図面をまとめ、それぞれのコンセプトを発表



各班の案



1班

生き物が棲める自然

クルミスポット(リスが住める)

紅葉スポット

山菜スポット

背丈の低い花(観賞用)

2班

鳥類の観察できる場所の形成

トビの幼鳥がいたことを考慮し鳥類がたくさん集まれる場所

散歩が出来、花や鳥類を観察
巣箱を設置

小動物が住める
山菜が採れる

3班

近隣住民から愛される場所の
形成

幅広い年齢層の人が利用しやすい場所

原生花園を多く設置

山菜が採れる場所

4班

自然と親しめる散策路の形成

低くなった部分に湿地環境を作る

現在道路になっている周辺には手を入れない(魚のため)

5班

人と生き物の共存

人と生き物の利用空間を分ける

人が訪れる場所

花を多く植える

道路沿いに花や山菜

生き物が利用する場所

虫が好む草を多くする

各班の図面をとりまとめる



